（様式3）

合流式下水道緊急改善事業　事業評価シート

評価実施年月：平成21年8月

1. 対象事業	揖保川　処理区　合流式下水道緊急改善事業
2. 実施主体名称	兵庫県
3. 計画期間	平成17年度～平成21年度

4. 対象事業の進捗状況

平成21年度末における進捗状況は以下のとおり。

4-1. 流域下水道施設（兵庫県事業分）

○ 揖保川浄化センターにおいて、9Q遮集時に処理能力を有することを確認した。

4-2. 流域関連公共下水道施設（関連市事業分）

○ 網干雨水ポンプ場において、沈砂池のドライ化を整備した。

○ 網干雨水ポンプ場において、縮小目幅スクリーン設置を確認した。

5. 目標の達成状況と見通し

既計画の目標に対する達成状況と達成の見通し

区分	平成16年度末 （計画立案）	平成21年度末 （緊急目標年度）	平成21年度末 （事後評価）
汚濁負荷量の削減	100%	100%	100%
公衆衛生上の安全確保	100%	100%	100%
夾雑物の削減	100%	100%	100%

①汚濁負荷量の削減　　ドライ化、遮集能力の増強により達成。

②公衆衛生上の安全確保　遮集能力の増強により達成。

③夾雑物の削減　　　　網干雨水ポンプ場スクリーンの目幅縮小により達成。

6. 対象事業の整備効果の発現状況等

○ 揖保川浄化センターにおいて、過年度から運用している合流区域汚水量ほぼ全量となる9Qの遮集、高級処理を適切に評価し、かつ網干雨水ポンプ場沈砂池をドライ化した結果、汚濁負荷削減目標を達成していることを確認した。

○ 揖保川浄化センターの9Q遮集、高級処理を適切に評価した結果、網干雨水ポンプ場での未処理放流回数削減目標を達成していることを確認した。

7. 事業の効率化に関する取り組み状況

揖保川浄化センターの汚水処理の運用変更、網干雨水ポンプ場の沈砂池ドライ化など、既存施設を有効に活用し事業の効率化に取り組んだ。

8. 今後の方針

緊急改善事業の完了により、当面の改善目標については達成済みである。今後も、パンフレットや広報誌や出前講座等の下水道事業に関するPRなどに県と流域関連市町で協働して取り組む。